



学校だより

あふれるいずみ

令和2年4月15日
練馬区立大泉西中学校
令和2年度4月号

社会を見る目を働かせて

校長 鈴木裕行

私たちの社会がこれまでに経験したことがない社会の状況の中、昨年度が終わりました。そして、再び臨時休業が延長される中で新年度を迎えました。様々な思いを抱くところですが、生徒の皆さんには、この状況をしっかりと見つめる“社会を見る目”を働かせ、今の社会やこれからの社会を考える力を発揮することを期待します。

勉強は、大人も子供も関係なく、いくつになってもいつでもどこでも、私たちの心構え一つでできます。なぜだろう、どうなっているのだろう、どちらが正しいのだろうと感じることは、日常の生活の中でたくさんあります。それを「まあいいか」とそのままにしないで、ちょっと聞いてみたり、調べてみたり、誰かに話してみたりすると勉強が始まります。今、世の中で起きていることに対して、最後の答えや正解を知っている人はいません。全ての人が今起きていることをしっかりと受け止めて考え、次のより良い答えやみんなの幸せにつながる行動を選択しようとしています。中学生の皆さんがそれをしっかりと見つめて、自分で考える力が“社会を見る目”です。

新聞やテレビ、ラジオ、インターネットなど、あふれる情報の中から、誤った情報に振り回されずに正しい情報を見つけ出しましょう。正しさを確認するためには、複数の情報を比較して、一つの考え方にしばられずに多面的、多角的に考えてみましょう。そのことにより、漠然とした不安が少なくなったり整理されたりします。そうすれば、自分の気持ちを落ち着かせることができるでしょう。その先には、自分ができることを行動に移す意欲が生まれます。

もちろん中学生の皆さんには、学校生活や授業を通して学んでほしいことがたくさんあります。でも、今は予定どおりにはできません。学校から出された課題や学習方法を手がかりにして自学自習の時間はできますが、ぜひ先生たちと個別に相談をしたり連絡をとったりして、今しかできない自分の学習を進めましょう。勉強以外にも心配なことがあれば、どんなことでも遠慮なく先生たちに相談してください。

臨時休業が終わった時に、自分の力で成長している大泉西中学校の生徒の姿を楽しみにしています。

【お願い】学校からの案内は、学校ホームページ、学校連絡メールを通して配信いたします。学校連絡メールに未登録の保護者の皆様には、早めの登録をお願いいたします。